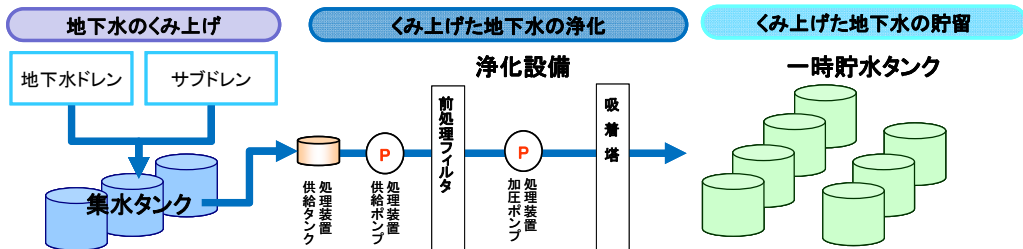


(1) 浄化設備の安定稼働の確認手順

放射性物質濃度を1/1000～1/10,000未満に浄化可能な専用設備を利用し、安定的な地下水の浄化および地下水の移送ができることを確認



「浄化設備によるくみ上げた地下水の浄化手順」



「各試験(STEP1～3)を通じた浄化設備の「安定稼働」の確認」



STEP	試験内容	実施期間	実施内容	実施回数	実施期間	実施内容
STEP 1	通水運転試験		ろ過水による通水運転(約2時間, 50m³)	<7/10>		
STEP 2	浄化性能試験	8/14～8/16	地下水のくみ上げ	<8/20> 1回目(300m³)		地下水の貯留
STEP 3-1	連続循環運転試験	9/5～9/11	連続循環運転(8時間×7日間)	<9/5～9/11>		
STEP 3-2	系統運転試験	9/16～10/30	地下水のくみ上げ	<9/26～27> 2回目(700m³) <10/17～18> 3回目(1,000m³) <10/26～27> 4回目(1,000m³) <11/4～5> 5回目(1,000m³)		地下水の貯留

・浄化性能試験後の水質は5回とも、地下水バイパスの基準を下回ることを確認済み

(2) 浄化後の水質分析結果

単位: ベクレル/リットル (「ND」は、検出限界値未満、()内数値は検出限界値を示す。)

	1回目 8/20		詳細分析 (検出限界値を下げて 1回目の水を測定)		2回目 9/26～27		3回目 10/17～18		4回目 10/26～27		5回目 11/4～5		地下水 バイパス の基準 運用目標	WHOの 飲料水 ガイド ライン	告示の 濃度 限度	建屋 滞留水
	東京 電力	第三者 機関	東京 電力	第三者 機関	東京 電力	東京 電力	第三者 機関	東京 電力	東京 電力	第三者 機関						
セシウム134	ND (0.54)	ND (0.43)	ND (0.053)	ND (0.029)	ND (0.71)	ND (0.46)	ND (0.48)	ND (0.53)	ND (0.62)	ND (0.50)	1	10	60	37万～ 570万		
セシウム137	ND (0.46)	ND (0.52)	0.070	ND (0.050)	ND (0.58)	ND (0.62)	ND (0.42)	ND (0.77)	ND (0.68)	ND (0.43)	1	10	90	110万～ 1,700万		
全ベータ	ND (0.83)	ND (0.31)	ND (0.190)*	ND (0.010)*	ND (0.80)	ND (0.88)	ND (0.32)	0.93	ND (0.88)	ND (0.33)	5	10*	30*	170万～ 5,200万		
トリチウム	670	610	-	-	620	520	530	450	360	350	1,500	10,000	60,000	29万		

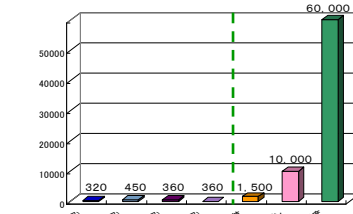
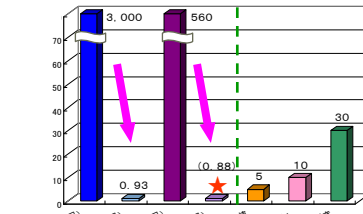
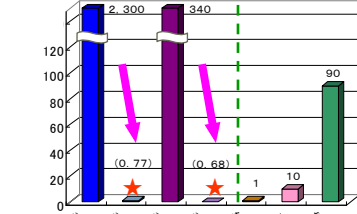
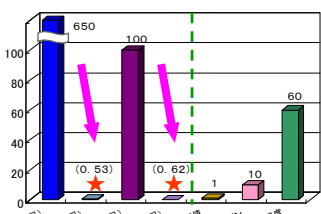
* ストロンチウム90

セシウム134

セシウム137

全ベータ

トリチウム



★ 検出限界値未満

単位: ベクレル/リットル

※1) 告示の濃度限度: 「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則の規定に基づく線量限度等を定める告示」